

言語生態科学国際シンポジウム
—黄河流域の方言伝播—

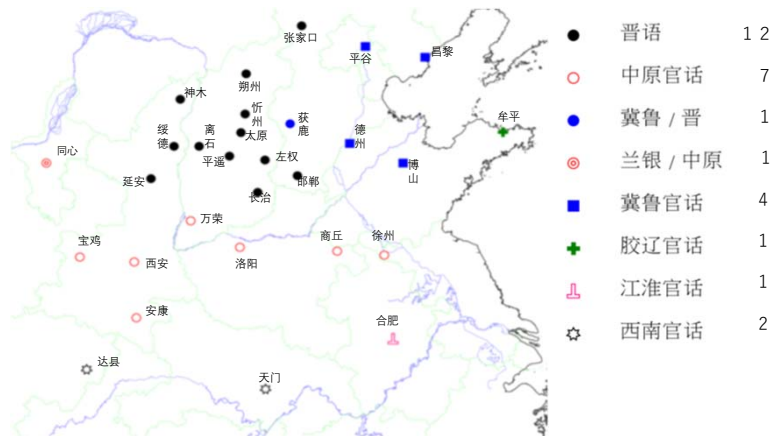
語彙変化からみた晋語とその 周辺方言の関係

岩田 礼
(公立小松大学)

1. 研究の目的

- 晋語と周辺方言の関係を統計的手法によって測る。
 1. 中原官話(南部)との関係: 秦晋方言
 2. 冀魯官話との関係
 3. 晋語内部の差異
 4. 黄河が言語伝播に果たす役割

2. 対象地点 29地点



3. 対象語彙項目 全24項目

近代(晩唐・宋)以降の変化を反映するものを主とする。

(1) 晋語を中心に分布する特徴

- 1) 鼠mouse “尙兒” or “姑兒”
- 2) 蛇snake “長虫”、“皮条”と言わない。“蛇”しか使わない。
- 3) 鳩pigeon “楼鳩”、“楼楼”、“木鳩”
- 4) 蟻ant “螞蚱”
- 5) 蝙蝠bat 第二音節入声 e.g. “夜蝙蝠[piəʔ]蝠”
- 6) 蜻蜓dragonfly “水”系語形 e.g. “水蜻蜓”、“川边將軍”
- 7) 高粱sorghum、8) 玉蜀黍sweet corn “茭子”、“[黍+音]黍”
- 9) 膝頭knee Prefix “圪”の使用
- 10) 祖母paternal grandmother “娘娘”

(2) 中原官話を中心に分布する特徴

- 11) 雀sparrow “小虫”、“飛虫”
- 12) 鵲magpie “麻”系語形 e.g. “麻野鵲”

(3) 晋語、中原官話双方に分布する特徴

- 13) 蝶butterfly “蝶”
- 14) 首neck “脖項”
- 15) 腋armpit 第二音節l-声母 e.g. “胳老肢”
- 16) 臍navel 挿入式語構成 e.g. “肚[pəʔ]脐”、“肚[məʔ]脐”
- 17) 踝ankle Infix “la”、“ər”の使用 e.g. “滑拉骨”
- 18) 外祖母maternal grandmother “舅家”、“筒”の使用

以下は相対的に古い特徴

(4) 官話地域に広範にみられる特徴

- 19) 月moon “月明” or “月兒”
- 20) 今日today “箇”の使用 e.g. “今日个”、“今儿个”
- 21) 蠅fly “蠅子”だけを使い、“蒼蠅”と言わない。
- 22) 伯父father's elder brother “爹” or “爸”の使用

(5) 冀魯官話に残存する特徴

- 23) マラリアmalaria
“瘧子”だけを使い、“擺子”と言わない。

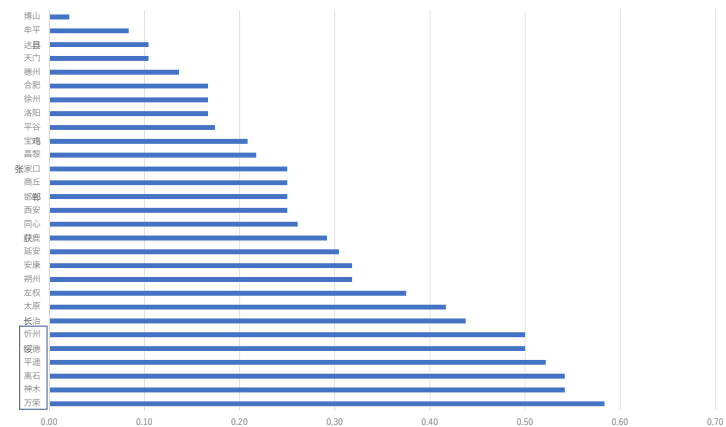
(6) 官話地域では長江沿いに分布する特徴

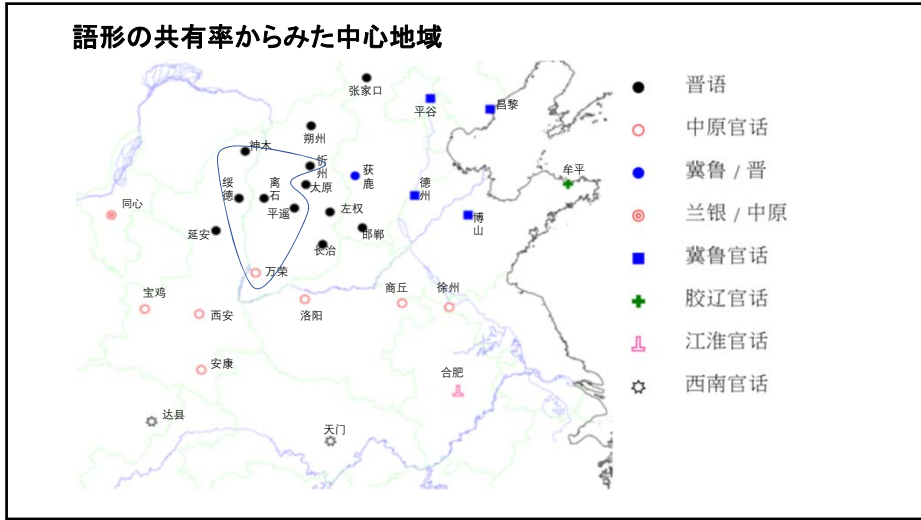
- 24) 誰who “Which”系 e.g. “哪个”
Cf. 《漢語方言地圖集 續集》Map 39 (中西裕樹担当)

3. 語形“共有率”の算出

- ある方言は上記24特徴のうちの何パーセントを有するか？

表1 共有率



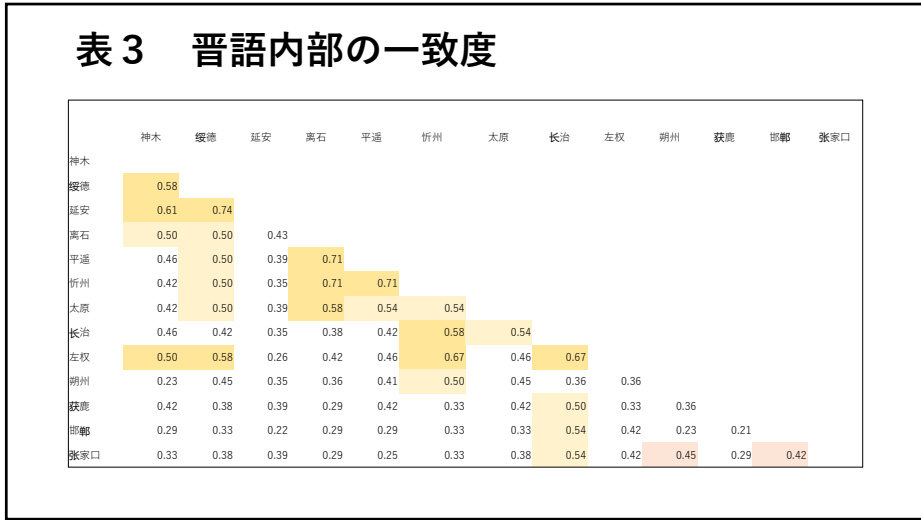


4. 方言間の語形一致率(相関係数)

• 29地点の方言すべてについて相互一致率(相関係数)を求めた。

表2 方言間の語形一致率(相関係数)

方言	神木	绥德	延安	离石	平遥	忻州	太原	长治	左权	朔州	获鹿	邯郸	张家口
神木	1.00												
绥德	0.58	1.00											
延安	0.61	0.74	1.00										
离石	0.50	0.50	0.43	1.00									
平遥	0.46	0.50	0.39	0.71	1.00								
忻州	0.42	0.50	0.35	0.71	0.71	1.00							
太原	0.42	0.50	0.39	0.58	0.54	0.54	1.00						
长治	0.46	0.42	0.35	0.38	0.42	0.58	0.54	1.00					
左权	0.50	0.58	0.26	0.42	0.46	0.67	0.46	0.67	1.00				
朔州	0.23	0.45	0.35	0.36	0.41	0.50	0.45	0.36	0.36	1.00			
获鹿	0.42	0.38	0.39	0.29	0.42	0.33	0.42	0.50	0.33	0.36	1.00		
邯郸	0.29	0.33	0.22	0.29	0.29	0.33	0.33	0.54	0.42	0.23	0.21	1.00	
张家口	0.33	0.38	0.39	0.29	0.25	0.33	0.38	0.54	0.42	0.45	0.29	0.42	1.00



知見1 晋語内部の一致度と差異

1. 全般的に一致度は高い。
2. 陝北(黄河西岸) と山西中部の一致度は高い。
3. 延安は他の晋語方言との一致度がやや低い。
4. 山西省東南部の長治と左権は相互に一致度が高いが、山西中部との一致度はやや低い。但し忻州との一致度は高い。
5. うち左権は陝北との一致度が高いが、河北省及び山西中部の晋語方言との一致度はやや低い。→データの再点検が必要。
6. 河北省と山西省の晋語方言は一致度が低い。→語彙項目の選択に因る？但し長治方言は邯鄲、張家口、獲鹿との一致度が高い。

表4 陝北晋語/万榮/中原官話

	高石 (参照点)	神木	綏徳	延安	万榮	西安	安康	同心	宝鷄	商丘	洛陽	徐州
高石												
神木		0.50										
綏徳		0.50	0.58									
延安		0.43	0.61	0.74								
万榮		0.54	0.50	0.42	0.35							
西安		0.38	0.42	0.42	0.39	0.46						
安康		0.14	0.50	0.36	0.45	0.23	0.41					
同心		0.22	0.43	0.39	0.52	0.13	0.17	0.48				
宝鷄		0.38	0.38	0.46	0.52	0.38	0.54	0.55	0.43			
商丘		0.21	0.29	0.25	0.30	0.17	0.25	0.27	0.30	0.17		
洛陽		0.25	0.25	0.33	0.26	0.21	0.21	0.36	0.26	0.21	0.67	
徐州		0.17	0.21	0.25	0.26	0.17	0.29	0.32	0.30	0.13	0.50	0.38

知見2 陝北晋語/万榮/中原官話

1. 陝北の3地点(神木、綏徳、延安)は相互の一致度が高い。
2. 中原官話は、陝西(西安、宝鷄、安康)と河南(洛陽、商丘)の一致度が低い。
3. 万榮は、陝北及び離石との一致度が高く、中原官話との一致度は低い(特に洛陽、商丘との一致度が低い)。
4. 西安は、陝北及び万榮との一致度がそれほど高くない。
5. 以上のことから、万榮及び陝北における語彙変化は、
仮説1：山西省の晋語地域から西方及び南方に向かう言語伝播によって促進された。
仮説2：黄河流域の経済交流によって促進された。

表5 東部晋語と冀魯官話

	長治	左権	獲鹿	邯鄲	張家口	昌黎	平谷	德州
長治								
左権		0.67						
獲鹿		0.50	0.33					
邯鄲		0.54	0.42	0.21				
張家口		0.54	0.42	0.29	0.42			
昌黎		0.39	0.26	0.35	0.52	0.39		
平谷		0.35	0.22	0.35	0.48	0.57	0.52	
德州		0.27	0.23	0.32	0.41	0.27	0.32	0.36
博山		0.29	0.17	0.17	0.29	0.21	0.17	0.30

知見3 東部晋語と冀魯官話

1. 長治方言は邯鄲、張家口、獲鹿（東部晋語）との一致度が高い。上述の通り。
2. 左権方言は邯鄲、張家口、獲鹿（東部晋語）との一致度がやや低い。
3. 邯鄲、張家口、獲鹿3地点の相互の一致度は低く、むしろ平谷（冀魯官話）との一致度が高い。

5. 今後の課題

1. 語彙項目を増やす。
また、innovativeな特徴とconservativeな特徴を区別する。
2. 地点密度を高める。特に黄河流域。
3. 地点間の空間的距離と方言間の言語的距離の関係を考慮する。
4. 統計手法を学ぶ。

再掲 対象地点

